

平成 31 年度 社会福祉法人日東保育園（法人全体） 事業計画書

1、はじめに（平成 31 年度事業計画の策定にあたり）

年号も改まり、平成 31 年度は創立 66 年目となる。2 園及び日東子育て支援センターの運営を中心に、法人本部としての活動に深く取り組んでいく。子育てが孤育てとなりがちなこと、また母親の就労が増加し子どもとのアタッチメントの構築が不完全となるケースが増えている。今年度は大切な乳幼児期に母と子のつながりを深める事業に取り組んでいく。法人としての中長期的計画としては、園庭の整備計画及び 3 年後の空調機の取り換え事業等に取り組んでいく。また、法人の経済基盤をつくることにも取り組んでいく。

2、法人の基本方針

（1）法人全体の理念として

お釈迦様の 6 つの教えを子どもの心に育てる。

- 1、人を信ずる人間になろう
- 2、よろこんで与える人間となろう
- 3、生命を大切に作る人間となろう
- 4、考え深い人間になろう
- 5、使命に生きる人間になろう
- 6、幸せをよろこぶ人間となろう

その為に私達日東保育園職員は、保護者に対し次のような心で日々の保育活動に取り組んでいく。

信為第一（しんためだいいち）

『信』は人との信頼関係である。保育活動を通して職員と保護者が信頼し合い、家族と園が一丸となって一人ひとりの子どもが豊に成長できるように努める。

愛山敬賓（あいざんけいひん）

日東保育園職員は、保育園を愛し、そこに関するすべての人々に対し、敬いの心と愛する心を持って接する。

強正明朗（きょうせいめいろう）

日東保育園職員は、強く正しく明るく朗らかに子どもや保護者に接し、常に笑顔を中心掛ける。

梅発清香（ばいはつせいこう）

日東保育園職員は、自らの職務に気づき、主体的に仕事に取り組み、周囲の人に対して思いやりの心で接し、梅の花の様に周囲によい香りとなるように精進する。

(2) 法人が取り組む事業（社会福祉法に基づき定款に明示）

① 第二種社会福祉事業

- ア) 保育所の経営
- イ) 地域子育て支援拠点事業の経営
- ウ) 一時預かり事業の経営

(3) 重点課題

- ① 創立 70 年に向けての取り組みと今後の日東保育園を展望する取り組み。
- ② 職員の人材確保、育成、定着に向けた取り組み。

3、会議の開催

法人全体の事業の推進や円滑な運営を進めるために下記の会議を開催する。

(1) 理事会の開催

法人の業務執行の決定、理事の職務執行を監督、理事長及び常務理事の選定及び解職等を実施するために定期的に会議を開催する。また、必要に応じて臨時理事会も開催する。

(2) 評議員会の開催

定款変更、理事・監事の選任及び解任、決算書類の承認、役員報酬基準の承認、社会福祉充実計画の承認等、評議員の役割や権限が強化された。それに伴い、年度初めに定期評議員会を開催する。また、必要に応じて臨時評議員会についても開催する。なお、評議員の選任等については評議員選任・解任委員会を開催し、決定する。

4、法人事業計画の具体化

(1) 法人経営力の強化

① 役員、管理職、リーダー的職員の将来展望

社会福祉法人制度改革に伴い法人機能の充実が求められる。理事会、幹事会及び評議員会の役割が確実に果たせるような体制強化に努める。

また、各事業所の施設長や主任、リーダー等についても将来への展望を図るため、必要な学習の場を設ける。

② 法人の財政基盤の確立

社会福祉法人の財政基盤の一層の充実を図るため、他の社会福祉法人の事例も参考にしつつ、収益事業、資金調達、資金運用のあり方について検討を行う。保育制度の大幅な改正に伴い、運営費等を分析して安定した経営基盤を確立する。また、法人本部の財政安定についても引き続き検討していく。

(2) 法人としての人材対策と円滑な組織運営（職員確保、育成、定着策等総合的な取り組み）

これからの担う人材を確保し育成するために、法人全体として採用から育成まで一貫した取り組みを行う。

- ・法人が目指す理念について周知し、求められる人材像や専門職象を明らかにし、人材育成の方針を確立し、それに応じた研修を実施する。

- ・人材確保対策、人材育成対策、人材定着策を総合的に発展させるよう、これまでの取り組みをより強化する。

① 人材確保の取り組み

人材確保策は、理事長及び園長を中心に進め、学生や社会人向けの施設見学会の開催や、法人合同採用（愛知県社協の福祉人材確保ネットワーク事業）を実施する。また、職員の個別面談等も実施するなど、採用後の育成についても継続的に取り組む。

事業所ごとに実習生を積極的に受け入れ、より丁寧な実習指導を行い養成期から人材育成に努める。

② 人材育成・専門力の向上の取り組み

ア) 職員研修について

職員研修はこれまでの取り組みを踏襲しつつ実施し、人材対策全般的な取り組みと合わせて拡充する。

③ 職員の定着への取り組み

ア) 職員のワークライフバランス対策（超過勤務軽減対策等）や、出産・育児対策等について法人全体で検討を行う。

イ) 全職員における有給休暇取得率の向上を目指す。

④ 施設長やリーダー的役割を果たす職員等の運営管理向上と、職員育成システムの取り組み
法人全体の職員数が多くなり、日常的な施設運営に関するマネジメント力が求められている。施設マネジメントのあり方を学ぶと共に、各自の自己チェックや、他者チェックのシステムのあり方について法人で検討し、日東保育園の良さを活かす職員の資質向上に向けた人事制度を検討していく。

(3) 情報発信や地域活動への積極的な取り組み

① 広報活動の強化と双葉会運営の充実

ア) 法人の広報媒体として重要な役割を果たすホームページの内容充実と併せ、内容更新に努める。

イ) 平成 5 年度に発足した「双葉会」を充実、発展するよう会員数の増大、会報の内容充実を努め支援の輪を広げる。

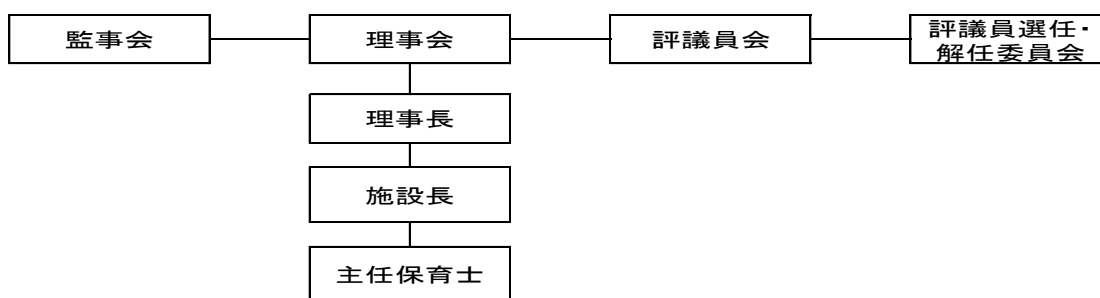
② 地域活動の取り組み

平成 28 年度より社会福祉法人の地域公益事業の実施が責務として位置づけられた。社会福祉法人日東保育園として地域支援の今後のあり方を探っていきたい。現在、各事業所が積極的に実施している子育て支援や地域活動についてホームページ等で公表すると共に、法人として地域公益事業に更に取り組んでいきたい。

その他、法人全体で対応すべき事項や各事業所への支援、調整及び対外的調整など多岐に亘る法人業務を遂行する。適宜、理事会等を開催し法人全体としての実施対応事項への具体的対策などを協議、調整していく。

5、組織図、職員内訳、予定表等

① 組織図 平成31年4月1日現在



② 職員内訳 法人全体 91名

日東保育園 全職員 45名 (平成31年4月1日現在)

(1) 常勤職員

園長 1名 主任保育士 1名 保育士 16名 栄養士 1名 調理員等 2名
事務員 2名 雇用人 1名

(2) 非常勤職員

保育士 12名 保育補助 3名 看護師 2名 調理員等 1名 整美員 1名

(3) 嘱託職員

嘱託医 2名

米野木台西保育園 全職員 46名 (平成31年4月1日現在)

(1) 常勤職員

園長 1名 主任保育士 1名 保育士 13名 栄養士 1名 調理員等 2名

(2) 非常勤職員

保育士 19名 保育補助 3名 看護師 1名 調理員等 3名

(3) 嘱託職員

嘱託医 2名

③ 理事会及び評議員会の予定

平成31年2月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度事業計画及び予算の件 その他
平成31年5月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 監事監査 平成30年度決算及び事業報告書(理事会) その他
平成31年6月	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度決算及び事業報告書(評議員会) 理事・監事の選任
平成31年10月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度補正予算 その他
平成32年3月	<ul style="list-style-type: none"> 平成32年度予算及び事業計画について その他

※上記の他、開催の必要と認めた時、理事会及び評議員会を開催する。